在宅医療・介護連携推進事業の取組み状況 について

令和2年度 第2回大阪市地域包括支援センター運営協議会

令和2年9月17日

大阪市福祉局 高齢者施策部高齢福祉課

令和元年度

区役所・相談支援室の取組み 状況について

在宅医療・介護連携推進事業~大阪市の取組み~

国が定める8つの事業項目ー大阪市の取り組み体制

(ア)地域の医療・介護の資源の把握

- ・地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集
- ・情報を整理し、リストやマップ等の必要な媒体を選択して共有・活用

(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

・地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在 宅医療・介護連携の現状を把握・共有し、課題を抽出、 対応策を検討

(カ)医療・介護関係者の研修

- ・地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、他 職種連携の実際を習得
- ・介護職を対象とした医療関連の研修会を開催

(キ)地域住民への普及啓発

- ・地域住民を対象にしたシンポジウム等を開催
- ・パンフレット、区広報紙、HP等を活用した在宅医療・介 護連携に関する普及啓発
- ・在宅での看取りについての講習会の開催等

区役所を中心に事業実施

(ウ)切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

・地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護 サービスの一体的な提供体制の構築を推進

(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援

- ・情報共有シート等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- ・在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援

・医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターを 配置し、相談窓口の設置・運営により、連携の取組みを 支援

(高齢者等在宅医療・介護連携相談支援事業として) 地区医師会等に委託





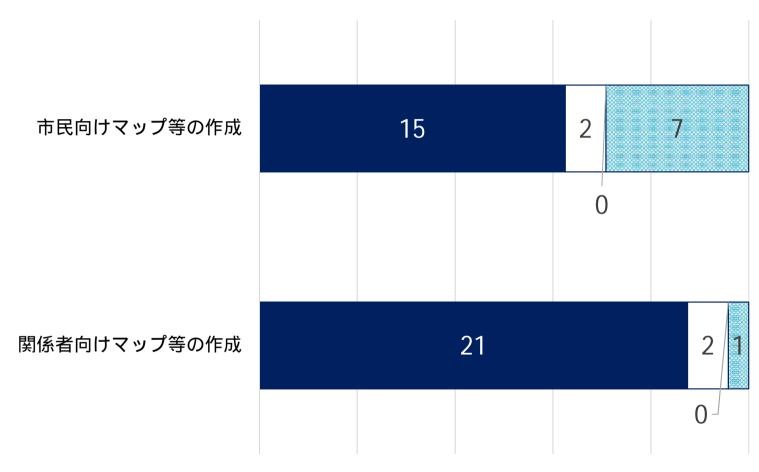
『**在宅医療・介護連携** 相**談支援室**』を設置・運営

健康局を中心に検討

(ク)在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

・同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

(ア)地域の医療・介護の資源の把握

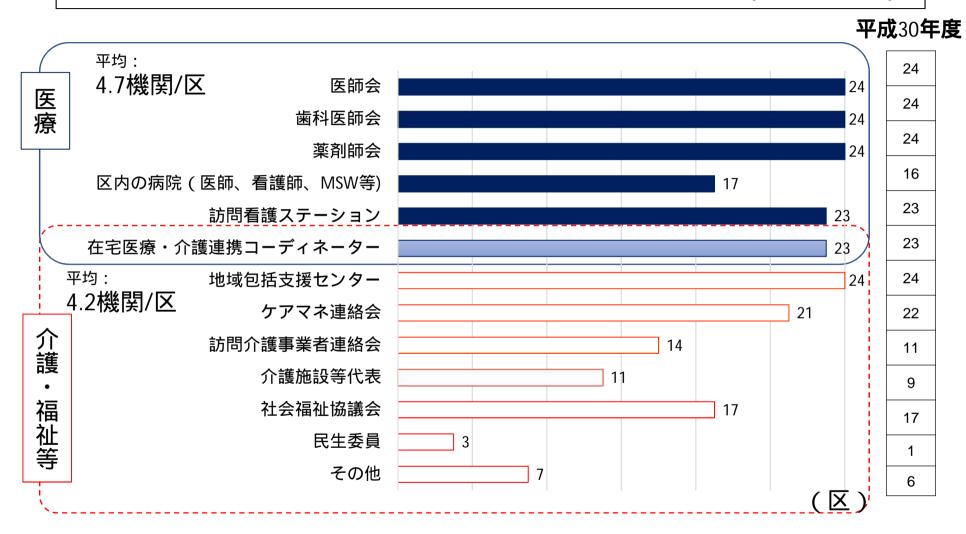


- ■1. H30年度以前に作成済 □2. R元年度に作成済
- ■3. R2年度以降に作成予定 ■4. 作成しない

市民向けマップを作成しない理由:他の関係機関が作成・マップナビ大阪を活用

(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 その1

各区在宅医療・介護連携推進会議 医療介護関係者の参加状況(部会等除く)



その他:7区で12機関が参画。

通所介護事業者連絡会、障がい者相談支援センター、認知症初期集中支援チーム等

(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 その2

推進会議で検討した内容

【地域における在宅医療介護連携に関する目標の設定について】

H 29年度 10 H 30年度 12 R 元年度 15

【地域における在宅医療介護連携の取組みを評価する】

H 29年度 7 H 30年度 10 R 元年度 13

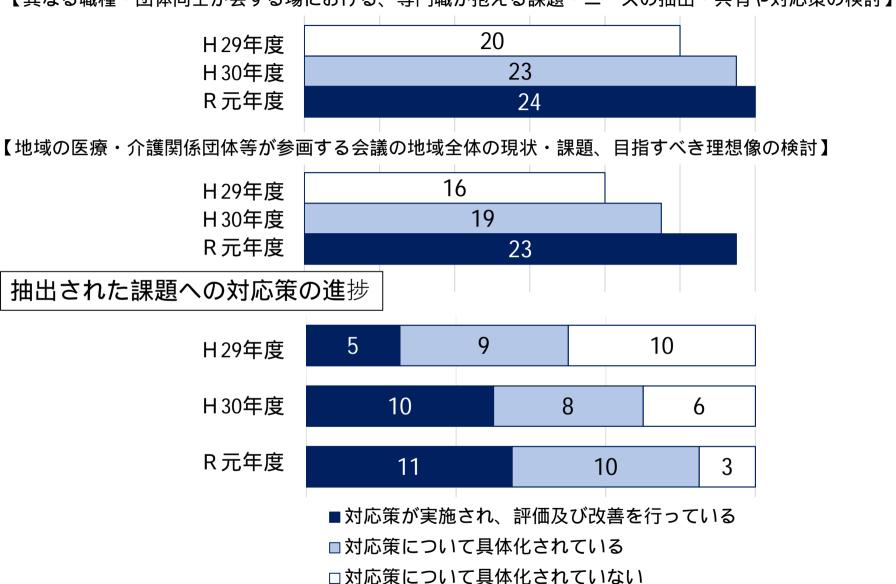
【地域における在宅医療介護連携の進捗状況について】

H 29年度 H 30年度 R 元年度 16

目標設定・取組評価・進捗管理といった事業評価の項目について検討する区が増えているが全区には至らず6割程度の現状である。

推進会議(部会含む)での取組み状況

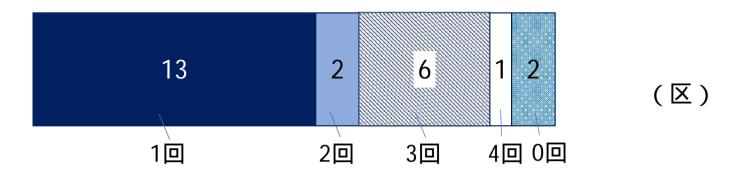
【異なる職種・団体同士が会する場における、専門職が抱える課題・ニーズの抽出・共有や対応策の検討】



課題抽出、対応策の検討をほぼすべての区で実施し、対応策の実施および評価改善を実施した区が増加。

(カ)医療・介護関係者の研修 対応策の実施~その1~

研修会の実施回数



22区 合計78回の研修会を開催。 0回の2区はいずれも新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を中止。

研修テーマ

A C P

- ・アドバンス・ケア・プランニング多職種研修会
- ・人生会議~その人が望む最期を実現するために~

意思決定支援

- ・ひとり暮らしで意思確認が難しい人の最期に向かう支援について
- ・ターミナル患者の事例を通して意思決定支援について学ぼう!
- ・意思表示困難な患者に寄り添う意思決定支援

入退院支援

・暮らしを支える各職種の役割と機能の理解 ~退院時に「つなぐ」ために~

認知症への 対応

- ・認知症、看取りの際の意思決定
- ・認知症支援のための事例検討会
- ・ひとりぐらし認知症高齢者の気持ちに寄り添う在宅支援を考える

連携

- ・これからの医療と介護の連携をどうすすめるか
- ・医療職との上手な連携
- ・本人主体の看取りを考えるそれぞれの役割と効果的な連携

その他

- ・お口の健口のために~口腔ケアについて~
- ・地域連携と栄養管理
- ・ポリファーマシー

(キ)地域住民への普及啓発 対応策の実施~その2~

講演会·研修会

 ACP
 ・これからのACPを考えよう

 ・自分の最期は自分で決めよう
 ・『もしバナゲーム』を使った地域学習会

 在宅医療と介護
 ・ご存知ですか在宅医療

 ・医療と介護が必要になったときのくらし

 認知症
 ・認知症の予防・理解

 ・認知症と在宅支援について

 その他
 ・歯科医師会、薬剤師会からの講話

広報紙・ホームページ

診療所、病院の各代表と 区長との対談

・住み慣れた地域で暮らし続ける

診療所医師とケアマネジャー との対談

・在宅医療と介護の連携を推進し 皆さんの暮らしを支えます

在宅医療を選択した方の体験談を募集し紹介

- ・自宅で手をつないで笑顔で逝った主人
- ・母を一人にしたくない思いで在宅医療を決意

リーフレット

- ・もしもの時のために
- ・安心して住み続けるために

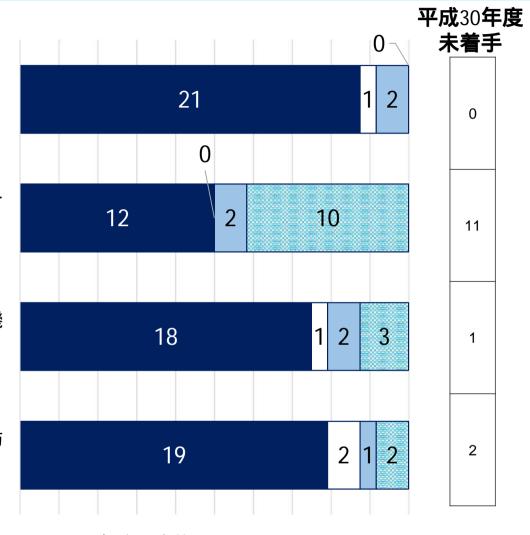
(ウ)切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 対応策の実施~その3~

1. 区民が必要とする切れ目のない在宅医 療・介護のサービス提供体制のニーズ、あり 方の検討

2. 主治医・副主治医制の導入・推進に向け た取組

3. 在宅療養中の利用者の急変時診療医療機 関や後方病床の確保に向けた取組

4. 訪問診療・往診を提供する医療機関と訪 問看護St.との連携体制構築への取組



- ■1. H30年度以前に実施している □2. R元年度に実施している
- ■3. R2年度に実施予定 ■4. 現時点では未着手

【局面ごとの取組み例】

入退院支援

- ・ケアマネジャーから病院への入院時情報提供は増えたが、病院からは情報提供できていない。 事前アンケートを実施し、多職種研修を開催。
- ・区内では救急病院・地域包括ケア病棟が少なく他区への入院となる場合が多い。 近隣区を含めた病診連携の会を開催。
- ・ケアマネジャー等は退院支援の実際を知らない。 病院内を見学する『病院ツアー』を開催し病院の退院支援の現状を伝えた。
- ・区内病院のつながる場がない 区内病院の情報交換連絡会を開催。

日常生活療養(緊急時含む)

- ・病院の従事者が在宅医療や訪問看護についての知識がないために在宅医療につなげない事 例が多いことが考えられる。 病院へ在宅医が病院へ出向いて研修会を実施。
- ・年末年始、連休等の対応に向けてのバックアップ体制について検討。
- ・多職種がお互いの役割への理解が乏しく。共通認識を持った上での支援方針の決定が困難。 多職種研修会の開催。

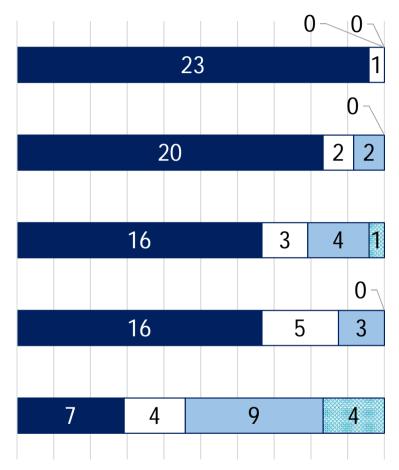
看取り

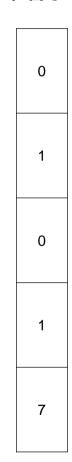
- ・関係機関(団体)へのアンケートから看取りに関する課題等を把握。
- ・多職種でACPをテーマに区民啓発講座の企画・実行

(工)医療・介護関係者の情報共有の支援 対応策の実施~その4~

平成30年度 未着手

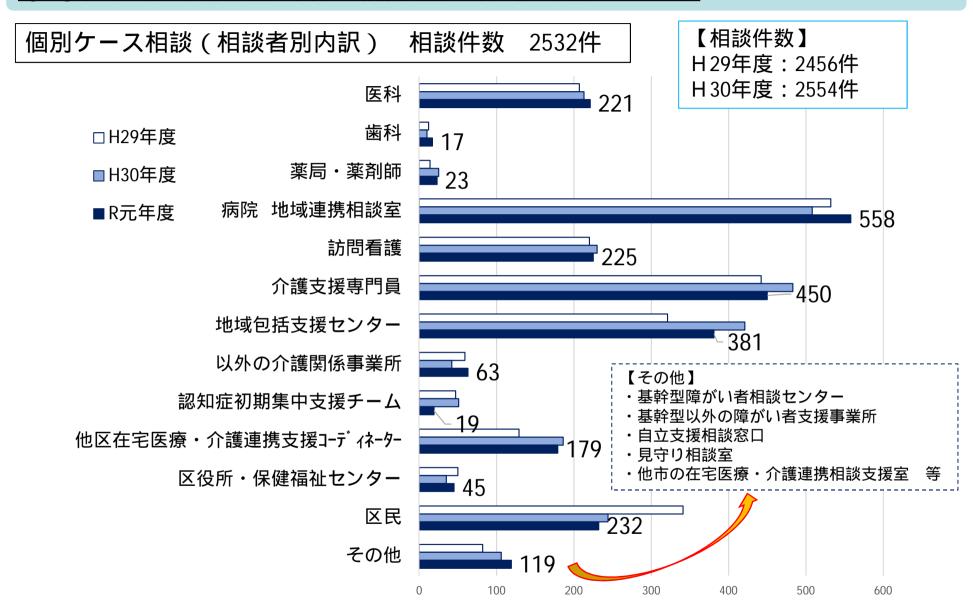
- 1. 医療・介護関係者間で共有すべき情報や 情報共有のニーズ、共有方法の検討
- 2. 現在使用されている情報共有ツールやそ の活用状況の確認
 - 3. 地域で充実又は作成するべき情報共有 ツールの検討
 - 4. 情報共有ツールの導入や利用促進
- 5. 4で導入した情報共有ツールの活用状況 や効果についての評価や改善





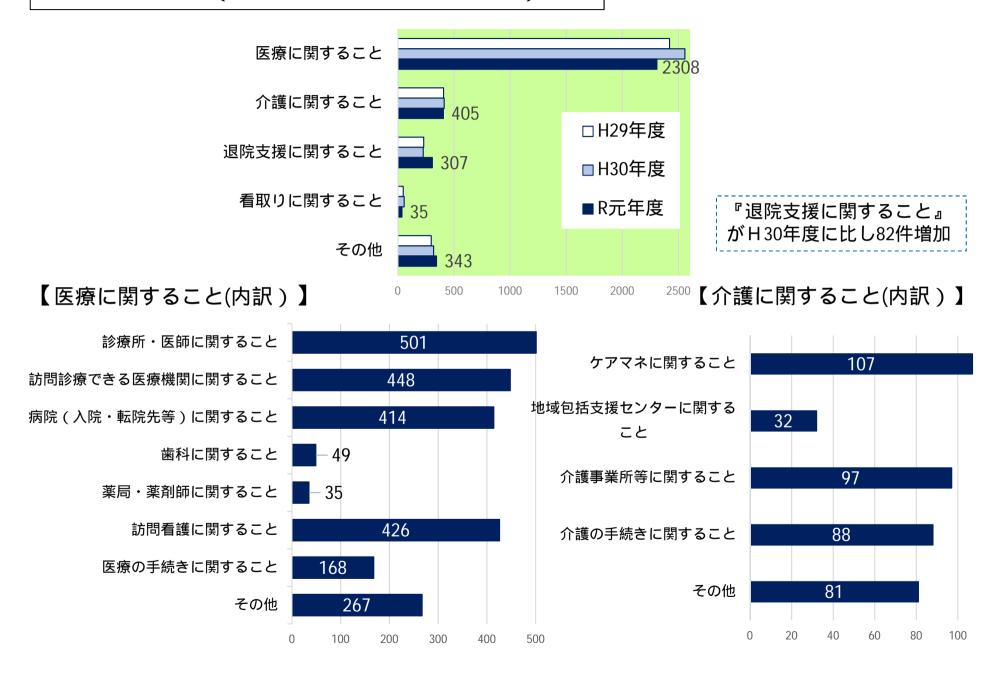
- ■1. H30年度以前に実施している □2. R元年度に実施している
- ■3. R2年度に実施予定 ■4. 現時点では未着手

(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援 対応策の実施~その5~



病院地域医療連携室、介護支援専門員、地域包括支援センターからの相談が多い。

個別ケース相談(相談内容別内訳:複数回答)



会議・研修会等への参加

		H 29年度	H30年度	R 元年度
	会議出席回数	1873	2012	2120
	市・区の会議、研修会	713	721	727
内訳	関係機関との会議、研修会	1160	1291	1393
	(再掲)地域ケア会議	203	196	144

令和元年度 在宅医療・介護連携推進事業 取組み状況 (概要)

13 TH /U T /X	工七位原 기陵点	主污住足字条 以租办认儿(W 3	ξ/																							罗行民们
	区役所	アイカキ	北	都島	福島	此花	中央	西	港	大正	天王寺	浪速	西淀川	淀川	東淀川	東成	生野	旭	城東	鶴見	阿倍野	住之江	住吉	東住吉	平野	西成	集計
	1:区での情報収集(アンケート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ア 地域の医療・介護の 資源の把握の取組状況	2:関係者向けマップ等の作成	1. H30年度以前に作成済 2. H31年度(R元年度)に作成済	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1	2	1	1	1	1	1	1	1.21区 2.2区 3.0区 4.1区
	3:市民向けマップ等の作成	3. R2年度に作成予定 4. 作成しない	1	4	2	1	1	1	1	1	4	1	1	1	1	1	4	4	1	2	4	4	1	1	1	4	1.15区 2.2区 3.0区 4.7区
	1:会議体の設置方法	 既存の会議体を活用 新規の会議体を設置 	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1. 16区 2. 8区
		開催回数 部会・ワーキンググループを設置	2回	5回	0回	0回	2回	1回	3回	4回	1回	5回	4回	10	3回	2回	6回	2回	5回	3回	2回	1回	3回	3回	5回	4回	0回~6回 1.18区
	4:会議体の部会	1. あてはまる 2. あてはまらない	1	1	1	1	2	1	2	1	2	2	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2. 6区
																		Aグ ループ	認知症								
													在宅医 療推進					(区民 にACP を知っ	支援 ネット						広報ひ	シンポ	
			多職種連携	リーフ		たウ圧		在宅医		大正区			会議• 教育研	在宅医		τπ <i>Ιν</i> σ		ナナミニ	△≃	鶴見区		コアメン バー会 議・政	冷士 じ		らの特	ジウ	
			ンググ	レット 作成 ワーキ		在宅医 療連携 を推進		療連絡 会議・ 介護関		在宅医 療•介			ループ	競·沂 護連携 推進会		研修 ワーキ ング・		「私たちの人生	初期集 中支援 _{推進事}	鶴在療護相定議見宅介携室会	宝忞去	、議発キは、会発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	住吉ど らやき の会・	東住吉 区在宅 医療連	別号作 成ワー キン	職種連 携研修	
		会議名称	プ・区 民啓発	ング・	病院部会	する会実務者	_	┃介護関 連事業 者等連	_	護連携推進実	<u>:</u>	_	7	議ワー		啓発 ワーキ		五哦」 Bグ ループ	業関係者会	護連携相談室	実務者 部会	(講演 会)•啓	らやき の会・ ミニど らやき	区医察会者	キン グ・連 携マ	ワーキング・	
			ワーキ ンググ	画ワー	.	会議		名寺選 絡部会		務者会 議			ング・ 区民啓 発グ ループ	グルー プ会議		ング		T の会 B が し が し に た に た に た に に に に に に に に に に に に に	議·意 思決定	議		キング (連携	の会	議	ニュア ル作成 ワーキ	ンノホ ジウム 冬恒去	
			ルーブ										ワーキング					く有取 りまで	ソーキンググ			シート)			ング	打合せ	
																		「思いを つなぐ」 ACP	ループ 会議								
		。 明友桂却以																7101									
	5:実施状況 1. H30年度以前に実施した 2. H31年度(R元年度)に実施した 3. R2年度に実施予定 4・実施に向けた具体的な準備・調整はしていない	1. 既存情報やデータ、在宅医療・介護連携に関連する既存の取組の集約・整理	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1.21区 2.3区 3.0区 4.0区
イ 在宅医療・介護連携		2. 1で集約・整理した情報に基づく、区役所内部での課題分析や推進方針の検討	1	1	2	1	2	1	1	1	4	3	1	1	1	2	1	1	1	3	1	3	3	1	1	1	1.16区 2.3区 3.4区 4.1区
の課題の無出と対応策の検討		3. 個別の医療・介護関係団体へのヒアリング等による、各専門職における課題の抽出・共有や、対応策の検討	2	1	2	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	2	2	1	1	3	2	1	1	1	1.17区 2.5区 3.2区 4.0区
		4. 異なる職種・団体同士が会する場における、専門職が抱える課題・ニーズの抽出・共有や、対応策の検討	2	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	1	2	2	2	1	1	1	2	1	1	1	1.16区 2.8区 3.0区 4.0区
		5. 地域の医療・介護関係団体等が参画する会議の地域全体の現状・課題,目指すべき理想像の検討	2	1	2	2	2	1	2	1	1	2	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	3	1	1	1	1.15区 2.8区 3.1区 4.0区
		1. 地域の医療・介護にかかわる資源の充足状況について	1	2	1	1	1	1	2	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1.18区 2.6区
		2. 在宅医療・介護連携の取組の状況について	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.24区 2.0区
		3. 情報共有のルールの策定について	1	2	1	1	2	1	1	2	2	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1.16区 2.8区
		4. 切れ目のない在宅医療・介護連携の提供体制の構築について	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.21区 2.3区
		5. 医療・介護のネットワークづくりについて	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.23区 2.1区
		6. 医療·介護の関係者や連携担当者の顔の見える関係づ くりについて	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.23区 2.1区
		7. 地域住民への普及啓発について	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.24区 2.0区
		8. 地域における在宅医療・介護連携に関する目標の設定について	2	2	1	1	2	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1.15区 2.9区
		9. 地域における在宅医療・介護連携の取組を評価する	2	2	1	2	1	1	1	2	2	1	1	1	2	1	2	1	1	2	1	2	1	1	2	2	1.13区 2.11区
		10. 在宅医療・介護連携推進事業の進捗管理について	1	1	1	2	1	1	2	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	2	2	1	1	1	1.16区 2.8区
		1. 対応策について具体化されていない2. 対応策が具体化されている3. 対応策が実施され、評価及び改善を行っている	2	2	2	1	3	3	3	3	2	3	2	3	2	3	3	3	1	2	3	2	3	1	2	2	1. 3区 2. 10区 3. 11区
カ 医療・介護関係者に 向けた多職種研修	1:多職種研修の実施	開催回数	3回	10	3回	1回	10	0回	10	10	0回	10	3回	3回	10	4回	3回	2回	10	10	2回	10	1回	1回	1回	3回	0~4回
	1:実施状況	1. 区役所や医療・介護関係団体が既存で実施している地域住民に向けた普及啓発の取組の整理やニーズの確認	1	1	1	2	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1. 21区 2. 2区 3. 1区
キ 地域住民への普及啓 発	2. 現時点では未実施だが、実	2. 在宅医療や介護で受けられるサービス内容や利用方法 についての周知・啓発	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1. 21区 2. 3区 3. 0区
	施に 向けて準備している 3. 実施の予定はない	3. 終末期ケアや在宅での看取り等終末期に関連した情報 についての周知・啓発	1	2	2	2	1	1	1	1	3	2	2	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1. 16区 2. 7区 3. 1区
	l				1	l									l .				I								J. IE

		受託法人 ウエオ	北	都島	福島	此花	中央	西	港	大正	天王寺	浪速	西淀川	淀川	東淀川	東成	生野	旭	城東	鶴見	阿倍野	住之江	住吉	東住吉	平野	西成	集約
(ウ)	1	I. 区民が必要とする切れ目のない在宅医療・介護のサービス提供体制の二一 ズ、あり方の検討	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	3	1	1	1	1	3	1	1. 21区 2.1区 3.2区 4. 0区
切れ目の	2	2. 主治医・副主治医制の導入・推進に向けた取組	1	1	4	1	1	4	4	1	4	1	1	3	4	1	3	4	1	1	4	1	1	4	4	4	1. 12区 2.0区 3.2区 4. 10区
ない在宅	; ;	3. 在宅療養中の利用者の急変時診療医療機関や後方病床の確保に向けた取 組	1	1	1	1	1	1	4	1	3	1	1	4	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	4	3	1. 18区 2.1区 3.2区 4. 3区
医療となった。	ウ)に関連する取組の を施状況にでいて、 はする取組を表するい。 H30年度では、 日本のでは、	4. 訪問診療・往診を提供する医療機関と訪問看護St.との連携体制構築への取組	1	1	1	1	1	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1	1	1	1	1	2	4	1	1. 19区 2.2区 3.1区 4. 2区
宇介護の提供体		※1 ・歯科医師会と連携し、研修会の企画開催、歯科衛生士への在宅医療に関するアンケート調査用紙作成。 ・区役所保健師と訪問看護師との交流会 ・医師会と居宅介護支援事業所連絡会との合同研修会(3師会・訪問看護連絡会も参加) ・居宅介護支援事業所連絡会と訪問看護ステーション連絡会との合同研修会 ・各団体(職種)における医療介護連携課題と対応策に関するアンケート調査実施 ・東淀川チームACPにおいて、専門職・地域住民へのACP普及啓発	前の続院援レ加緩域質区在急担急医大はに師力トー年活。のカンの中連問医宅連当連が淀訪携同サー度動区退ンスの大携2・師患絡日格対医問わ士ポかの内院フのア会北会者網に担応師診るでーシ継病支を地議は緊で緊当。会療医協		病チ携区ん立「援開医ら思援講院一、内連ち入」催の考決講解と一ム福心部が「立え決講実ど一なるに決議とという。というでは、一、は、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	ICT(スカインの) は入。想にでは入るのかができた。 では、このができたができたが、は、できたができたができた。 は、できないでは、できないでは、人のできまでは、できないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	「病を原者域え参。」域は 一族に、一族では、一族では、一次では、一次では、 一族では、一次では、一次では、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	病医を「のいをの院の性で在院・対策を大力で、急と1期、宅師行いを、対策の関係のでは、主動護医メ修内期際の医とって、急と1期、定師行動護医メ修内期隣の院内がり、務師に療と会つ病区急にの講り、		集まれる人で情報会	7.87	Aケアカード システム・ ブルーカー ドシスりでる ている	病一在連介		※ 1	施、 東成区居宅 介護支援事	主治医、副に 主治をはは、 検討は終るが 大実態。	(者ネやの護修訪師パマに対する)中介研師護修すで、医連会(問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	多ト議把議援研施確医めのけ護支る聞職ワで握退関修患に戻病働訪入に題取査・イク題と院すを者紹る院き問退お点り。っ会の討支る実が介たへか看院けの調ッ会の		病病連携、病診連携		病医にやて題情院別よるの々検共う在係ど会な討有でまた課とを		R元年度連期会 に開催。		
(H)	7 999	I. 医療・介護関係者間で共有すべき情報や情報共有のニーズ、共有方法の検 討	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1. 23区 2.1区 3.0区 4. 0区
療・介	エ)に関連する取組の実施状況	2. 現在使用されている情報共有ツールやその活用状況の確認	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	3	1	1	2	1	1	1	1. 20区 2.2区 3.2区 4. 0区
護関係者		3. 地域で充実又は作成するべき情報共有ツールの検討	2	1	3	1	2	1	1	1	3	1	1	1	1	1	4	3	3	1	1	1	1	1	2	1	1. 16区 2.3区 3.4区 4.1区
を情報が	実施状況 4 1. H30年度以前に実施	1. 情報共有ツールの導入や利用促進	3	2	1	1	2	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	3	1	2	1	2	1	2	1	1. 16区 2.5区 3.3区 4. 0区
支る	している .R元年度に実施してい る . R2年度以降に実施予 定	5. 4で導入した情報共有ツールの活用状況や効果についての評価や改善	3	4	1	2	3	1	1	1	4	1	3	2	3	3	4	3	4	3	3	1	2	1	2	3	1. 7区 2.4区 3.9区 4. 4区
援の取組状況について	4. 現時点では未着手 (入退院支援 の手引き多 職種研修会 を複数回実 施	医療介護専用(SNS(メディカルケアステーション)の普及を推進している	ウンロード 可能にして いる。医薬 連携・医科	介護連携相 談シートの 配布と利用				当区病院窓 ロ一覧 情 報掲載		Aケアカード システム	介護支援専 門員に対す る退院支援 研修	価は実施し			情報共有 ツーではない でいったがで利って 個用、ている あれている		区内のツールを間では、シーのでは一次では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方		医療と介護それぞれの活用状況の把握		連携シ連携シー携連びいかないがでいた。 一様のでででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では		連携シート の活用状況 のアンケー トを研修会 にて実施。		
(オ) (オ) (カ) (カ)	(オ)に関連する取組の	1. 相談受付・支援する人材の育成(研修会の受講や実施)	1	1	1	1	1	1	1	1	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.22区 2.1区 3.1区 4.0区
一談支援の取在宅医療・	実施状況 2	2. 相談員と区内の医療・介護関係者との関係構築(地域包括ケアに関連する会 議への参加等)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.23区 2.1区 3.0区 4.0区
組状況についる。	. H30年度以前に実施 している 2.R元年度に実施して いる . R2年度以降に実施予 定 4. 現時点では未着手	地域包括、ブランチ、見守り相談室、ケアマネジャー等からの困難事 例も各部署と協働しながら支援している。 ・対象者にとらわれずに医療につなぐことが必要なケースについては	在宅リハビ リ連絡会な どの連絡会 にオブザー バーとして 参加		大阪市の動 ・ 大阪市の野田 を ・ 支援流の場でを ・ 変換要す。 ・ ます。	事例検討 会・誰もが 集えるらり"健 を室"を毎月 開催	医療と介護 の連携のた めの地域診 断ワーキン グを毎月開 催	研修会情報 会情報誌(ハー を報志二一)し、関係 での での での でいる。				護連携推進会議へルパー勉種を入る。	診療所医師よりターミルでの リターシー ドスにに での での で で で で で で で で で で で で で で で で		・地議・公本の大学には、一地議・大学には、一人の大学のは、一人の大学のでは、一人の大学のでは、一人の大学の大学のでは、一人の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の		関係者と顔 を合わせた 時は、情報 を共間を作 る。		地議支課握ケり相の題側域、援題は、一会談課をもず記会の相スにケ題医把ア知議把談振よー・師握会症が				各係し上れてに困題り 体にのでいる。 の体のではいるでは を行いまででででいる。 を行いまででできる。 を行いまででできる。 は、これでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は				